

アンダマン海の真珠 プーケットと島々を旅する

タイの南、アンダマン海に浮かぶプーケットは、タイを代表するリゾート地。最近では周辺の海に点在するデイトリップが人気を呼んでいる。春がハイシーズンのアジアリゾートは、今がまさに行きどきだ。



タイ

Thailand

Phuket & around

プーケットと周辺の島々



バンコク

プーケット

旅のヒント in タイ

時差	日本より2時間遅れ。サマータイムはない。	
ビザ	観光目的で30日以内に出国するのであれば不要。入国時に30日以内に出国する航空券または予約済みの航空券を所持していること。	
通貨	バーツ	物価 日本よりも安い。特に交通費や外食費は割安感あり。
気候	1年を通して平均気温30℃を超える常夏の地。プーケットの乾季は11～3月。5～10月は雨季で、毎日スコールがある。	
ベストシーズン	乾季の11～3月頃がベスト。湿度も低く、比較的過ごしやすい。雨季でもシーズンオフということはなく、海水浴は1年申樂しめる。	

4泊5日モデルルート

- DAY 01 日本 ⇒ プーケット
- DAY 02 プーケット
- DAY 03 ビビ島
- DAY 04 周辺の島
- DAY 05 プーケット ⇒ 日本



詳細は地球の歩き方タイ編、リゾートスタイルプーケットサムイ島 ビビ島へ

発行：ダイヤモンド・ビッグ社
 本体：1700円＋税(上)
 1500円＋税(下)
www.arukikata.co.jp/guidebook

プーケット24時

24 hours in Phuket

プーケットには、24時間楽しみがいっぱい！ビーチ以外にも、町さんぽや絶景、エンターテインメントまでバリエーション豊富なプーケットの魅力に迫る。



ビーチは比較的涼しい 午前中が狙い目！

美しいビーチは、やっぱりマストで訪れたい！プーケットにはいくつものビーチがあるが、メインとなるのがパトン・ビーチ。約2.8kmにわたって続くビーチの周辺には飲食店も多く1日中とつてもにぎやか。

パトン・ビーチに繰り出すなら、午前中が断然おすすめ！午後にはたくさんの人でごった返すし、午前中なら日差しも穏やかで日焼け対策にもなる。海水浴を楽しんだり、寝転んだり、過ごし方は自由自在。パラセーリングやバナナボートなどのマリナクティビティにチャレンジするのも◎。朝ご飯やランチをビーチ沿いのレストランでとるのもいい。



①人気のパラセーリング。各アクティビティは、そこら中にあるビーチボーイに申し込みばいだけ ②ビーチマッサージなどもある ③パラソルとビーチチェアは有料



④カタ・ヤイ、カタ・ノイというふたつのビーチが一望できるカロン・ビューポイント ⑤カラフルな建物が並ぶプーケット・タウン ⑥散策とショッピングを楽しもう



プーケット・タウン散策& ビューポイント

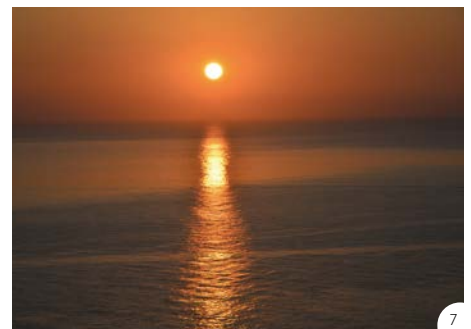
午後はビーチを離れて、プーケット・タウンをおさんぽ。町に並ぶのは、中国とポルトガルの影響を受けたシノポルトガル様式という独特の建物。特にタラン&クラブ・ロードには黄色やピンク、青などのかわいい建物が連続し、とってもフォトジェニック！歩き回って疲れたら、古い建物を改装したカフェでひと休み。エスニックなタイ雑貨や手作りのリゾートウェアを販売するショップなどもあるので、買い物も楽しめる。

プーケット・タウンを散策したあとは、カタ・ビーチの南にあるカロン・ビューポイントへ。青く光るアンダマン海の絶景を目に焼き付けよう。



海に沈む夕日が望める 絶景ポイントへ

サンセットタイムが近づいてきたら、島の南端にあるブロンテー岬へと足を延ばそう。カロン・ビューポイントからは車で15分ほどの距離だ。駐車場から坂道を登って行くと、岬の先端が望める展望スポットに出る。ここはプーケットの夕日の名所として知られており、夕方になると観光客はもちろん地元の人も集まってくる。展望スポットの中央にはゾウの置物がたくさん奉納されているプラ・プロムがあるので、合わせて見学しよう。ヤシの木をシルエットに、太陽が海へと落ち込む……。周囲一面がオレンジに染まる。心震える感動の瞬間だ。暗くなったら、パトン・ビーチのバングラ通りへ。プーケットのナイトスポットで盛り上がる！



⑦海に沈む夕日が見られるブロンテー岬 ⑧音楽を演奏する人がいる場合も ⑨夕日を自当てに、たくさんの人が集まってくる



⑩プーケット・ファンタシーというアミューズメントパークで行われるゾウのショー ⑪リングサイドで、大迫力のムエタイ観戦！ ⑫ハーバールボールは、タイの定番マッサージ



癒やし？ 刺激？ 振り幅激しいプーケットの夜

パワフルに楽しんだプーケットの1日。とどめは、きらびやかなエンタメショーで決まり！ 伝統舞踊からテーマパーク、ニューハーフショーにムエタイ観戦まで、選択肢は実に多彩！

ゆっくり過ごしたい人は、スパへ行くといい。定番のタイ式から足つぽまでさまざまなマッサージが受けられ、値段も日本に比べ格安！ 高級スパならホテル内や一軒家のヴィラタイプがおすすめ。町中にもたくさんのデスパがあるので、雰囲気と予算で行くスパを選ぼう。

アクティブ派からリラックス派まで満足でき、複数泊しても飽きない。こんな懐の深さが、プーケットのいいところ。

プーケット周辺の島々へ

Go to Around Phuket

プーケットを飛び出して、周辺の個性的な島々へと出かけてみよう。それぞれ日帰りツアーで手軽に訪れることができる。

スノーケリングならここへ!

シミラン諸島 *Koh Similan*

周辺の海が海洋国立公園に指定されているシミラン諸島。スノーケリングで青く澄み切った海に潜れば、そこにはたくさんのサンゴや熱帯魚が! 美しいビーチもあるので、のんびりと過ごしたい人向けの島だ。



- ⑬ スノーケリングで色とりどりのサンゴが見られる
- ⑭ 海底までくっきりと見える
- ⑮ ゴツゴツとした岩場のビーチもある

15

マリナクティビティにチャレンジ☆

コーラル島(へー島) *Coral Island(Koh Ae)*

プーケットからスピードボートでわずか20分のコーラル島は、アクティビティアイランド! 1日のアクティビティツアーに申し込みれば、ダイビングやシーウォーカー、パラセーリングにカヤックなどさまざまなメニューが楽しめる。



- ⑯ スノーケリングも人気のアクティビティ
- ⑰ アクティビティが料金に組み込まれたツアーが多い
- ⑱ 疲れたら日陰で休憩しよう

16

19



16



- ⑲ 体験ダイビングなら、ライセンスを持っていない人でもOK!
- ⑳ ニモことカクレメノミにも会える
- ㉑ 海底にはさまざまな生物がいる

写真提供: ©ほうぼう屋



21

奇岩の間をクルージング パンガー湾の島々

Ao Phangnga

海面から大小160もの奇岩と小島が屹立するパンガー湾を、のんびりとクルージング。メインは、映画『007シリーズ』に登場した、ジェームズ・ボンド岩。上陸もできる島もあり、ツアー中には島での観光やランチを楽しめる。



22



- ⑲ 波に浸食されてできあがったジェームズ・ボンド岩
- ⑳ カオピンカンという神秘的な岩
- ㉑ 名産の魚の干物や小エビを売る人も

24

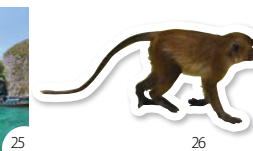
パンギー島
名物はいかが



青く透明な海に感動☆

ピピ島 *Koh Phi Phi*

プーケットから高速フェリーで約1時間30分で到着するピピ島は、映画『ザ・ビーチ』の舞台として一躍人気となった島。ビーチの美しさは、やはり特筆もの! ほかに、岩山に囲まれた絶景ビーチ・ラグーンなど絶景ポイントも満載。



27



- ⑲ 人気のスノーケリングスポット、ロー・サマ・ベイ
- ⑳ 野生のサルが住み着いているモンキー・ビーチ
- ㉑ トン・サイ・ベイとロー・ダラム・ベイに挟まれたビレッジが一望できるビューポイント

人の荷物を狙ってるよ

26

Thailand Gourmet

タイのグルメ

Best 5

スパイシーなタイ料理は、熱帯の気候にぴったり！
辛いだけではない、甘さや酸っぱさが複雑に絡み合う伝統料理を召し上がれ！

1位
トムヤム・クン
エビの入った辛くて酸っぱいスープ。
世界3大スープのひとつ

2位
ゲーン・キャオワーン
タイ風グリーンカレー。ココナッツミルクの風味と辛さが絶妙

3位
カオ・オップ・サッパロ
鶏肉入りのチャーハンをパイナップルの器に盛って提供

4位
プーパッポン・カレー
ぶつ切りにしたカニをカレー風味で炒めて卵でとじたもの

5位
ソムタム
熟す前の青パパイヤを使った、酸っぱくて辛いサラダ

Thailand Souvenirs

タイのおみやげ

Best 5

プーケットで購入したい、かわいいアイテムをセレクト。
どれもカラフルで、コスバも◎。
どれにするか悩んだら、全部買い占めちゃえ♪

1位
タイ雑貨
エスニックな模様の小物から陶器、ココナッツ製品など雑貨天国

2位
スパグッズ
アロマオイルやスクラブなど香りに癒やされるスパグッズがいろいろ

3位
ファッション
南国ならではのワンピースや民謡調のアクセサリなどが手に入る

4位
お香・石鹸
自然素材のナチュラル石鹸や、花やフルーツをかたどった石鹸

5位
スーパーのグッズ
調味料からスナックまでスーパーはおみやげ探しにもってこい！

プーケットのユースホステル

プーケットカロンビーチユースホステル Phuket Karon Beach - Karon Living Room

ADDRESS:
481 Patak Road, Phuket Karon Beach, 83100, Thailand
TEL: +66-(0) 762 86618 FAX: +66 762 86633
URL:
<https://www.hihostels.com/ja/hostels/phuket-karon-beach-karon-living-room>
E-Mail: info@karonlivingroom.com
ドミトリー: 約1,200円 / ツイン約4,200円 / トリプル約6,000円

